

EUにおけるサステナブルファイナンスの動向と日本に与える示唆 —2050年温室効果ガス排出ネットゼロを目指して—

堀江 隆一
鶴野 智子

目 次

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 1. はじめに | 3. サステナブルファイナンス・アクションプランの主な内容 |
| 2. EUでのサステナブルファイナンスの動き | 4. 日本への示唆 |

SDGsやパリ協定の目標達成のために民間資金を動員するサステナブルファイナンスの動きが、EUの主導で加速している。本稿では、まず、近年のEU政府におけるサステナブルファイナンスの動きを整理し、特に注目されるタクソノミー、ベンチマーク、金融機関の開示、企業開示について、最新の動向と日本企業への影響を考える。さらに、日本でも菅首相によって宣言された脱炭素だけでなく、生物多様性やサーキュラーエコノミーに関する動向も踏まえ、今後の日本の政策やサステナブルファイナンス市場参加者への期待を論じる。

1. はじめに

近年、SDGsやパリ協定の目標達成のために、民間資金を動員する必要性がグローバルで主張されており、中でもEUは、他国に先駆けて先進的な取り組みを行っている。こうした中、日本でも

菅政権に移行後、2050年脱炭素目標が打ち出され、環境政策に2兆円を投資することが発表されるなど、大きく舵を切り始めた。本稿では、まず、近年のEU政府におけるサステナブルファイナンスの動きを整理し（第2章）、特に注目される①タクソノミー、②ベンチマーク、③機関投資家等



堀江 隆一（ほりえ りゅういち）

CSRデザイン環境投資顧問(株)代表取締役社長。東京大学法学部卒、カリフォルニア大学バークレー校MBA、国土交通省「ESG投資の普及促進に向けた勉強会」座長などを歴任。「21世紀金融行動原則」環境不動産WG共同座長、「責任投資原則（PRI）」日本ネットワーク・アドバイザリーコミッティ委員、「国連環境計画金融イニシアティブ」不動産WG特別顧問などを兼務。



鶴野 智子（つるの ともこ）

CSRデザイン環境投資顧問(株)アドバイザー、公認会計士。東京大学経済学部卒、英国エセックス大学修士課程（会計学）修了。2005年あずさ監査法人入所、2015年より現職。サステナブルファイナンスに関する公的な調査業務やESG情報開示の推進に関するコンサルティングなどを行う。日本公認会計士協会統合報告等専門委員会副委員長。